



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業で、戦争のこわさや、
原子爆弾のすごさが分かりました。

先生の授業で心に残ったのは、お父さんが
体験した戦争のお話です。人間かも分からなく
なってしまった人や、すべて焼けしまった広島
の風景などの今では想像もつかない様子だと思
います。でも、今でも原爆によって病気になった、
家族をなくして苦しい思いをした人がいます。遠い
昔のように感じていた戦争や原爆の歴史も、とて
も近いものだと感じました。

もう二度と、このような原爆の苦しみが起こら
ないようにしたいと思いました。原子爆弾は、
熱線、しょうげき波、放射線と3つの大きな被
害があったと知りました。たくさんの方が亡くな
った原爆がもう起こらないように、もっとくわしく
知って、自分のできることをしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞いて原子爆弾によって人が亡くなることはもう二度とあってはならないことだと思いました。

私は去年広島に行き原爆ドームに行きましたテレビなどで目にしたことはあったけれど、実物を見るとかべはなく上のドーム型になっているところは骨組みのみとなっていて原爆の凄まじさが伝わってきました。ですが、原爆先生の話を聞くとそれだけではなく死者数が24万人と聞きとてもおどろきました。でもそれは広島だけのはなしであって他にも長崎でも同じくらいの死者がでているのではないかと思いつてもこわくなりました。

なので、私は戦争や原子爆弾で人が亡くなるのはもうあってはならないことだと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は今回の特別授業で、原爆のおそろしさを
実感しました。そして、原爆により亡くなられ
た人、また、原爆の被害からはのがれたけど、
それによって大変な思いをたくさんした人が
とてもかわいそうに思えました。原爆を体
験したことのある人の話を聞いて、よく想
像できました。

僕は今まで、原爆やその被害についてあ
まり興味を持っていなかったけど、話を聞いて
みたらあまりにさ"んこくなことだ"たの
で、これ以上あってはならないものだ"と思
います。

なくすためには、みんなが関心を持つこ
とが大事だ"と思います。改めて原爆のおそ
ろしさを知ったので、これからの未来では、そ
のよ"うなことが"起こらない事を願います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

お忙しい中、特別授業をしに来て頂き、ありがとうございました。原爆先生の授業で多く人のことを学びました。学校の授業ではあまり伝わらなかった原爆の怖さなども原爆先生の表現や上手く使った話し方でとても伝わってきました。ぼく自身も原爆なんて大したことはないかと思っていましたが原爆先生の話を聞いて、考えが変りました。また、原子爆弾を投下する着陸市に条件があったことや、原子爆弾の温度など知らなかったこともたくさん知りました。特に、原子爆弾の表面温度は、7000℃であり太陽の表面温度、6000℃より1000℃も高いことなどとてもおどろきました。

今回は、特別授業をしに来て頂き本当にありがとうございました。お体に気をつけてこれからもがんばって下さい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原子爆弾のおそろしさにあらためて実感しました、先生の父の話聞き、一番心にのこったのは、トラックにのりこもうとするひま暴者のひまが落ちるのか、心にのこりました、その話を聞いたときとりはだかたち、かわいそうな気持ちと助けたいけど助けられないということが思いました、罪のない人をいせいに殺して、やけどで長時間苦しい思いをさせてとても悲しい、かわいそうです。

今日の授業の題名が「7000°の少年」とな、ていて終わってから、考えてみて、広島に投下された原子爆弾の名が「リトルボーイ」で爆発したときの表面温度が「7000°」のことから「7000°の少年」はリトルボーイと思いました。

今日は、原子爆弾の特別授業をしていただきありがとうございました、ぼくは、これから戦争のない世の中がよいと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

二〇一九年十一月十八日(月)の原爆先生の授業を受けさせていただきありがとうございました。原爆の授業のお話は、理解をできたか危ういところで想像などできませんでした。原爆が落ちたときの音は、急で非常に驚きました。自分たちはくると分かっていながらも、ふるえてしまうくらいなので、落とされた人たちはもっと驚いたんだろう、というか、悪い想像をしました。逆にいえない想像しかできませんでした。人が焼けて、手をなぐり前に出して、ゆらゆら歩いていて、手からひふはたれ下からというお話がまだ耳にこびりついて離れません。お話でもおっしゃっていた通り、お父様や、その部下たちは、辛かったんだろうと思いました。今回の授業で自分は、原爆の恐ろしさか、生かじりですか分かりました。授業ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、命の尊さを知りました。戦争は、とてつもなくおそろしく、人の命を"モノ"として扱っていると思いました。科学の力で、太陽のようなものを発生させられることができて、その時、一瞬で亡くなった多くの命があることを知りました。そう考えると今、私達が存在していること、幸せな暮らしをしていることは、キセキなのだと思えます。これから技術が向上していくなかで、もっとおそろしい爆弾ができてしまうかもしれません。ですがそのとき、それを絶対に使おうとはせず、二度と殺し合いのない世界にしたいと思いました。ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

昨日は原爆について教えてくださり、ありがとうございました。

原爆は直径200mの円となり、その円の中心部は100万℃、外側でも7000℃だ
たそうですか。その時、7000℃に近い何れである6000℃の太陽のことを話してい
ただき、よくわかりました。また、全身にやけどを負った人が手をななめ前にしたまま
歩いていたのはわきかこすれて痛がたからだ」と知り、納得しました。この授業の題
名である「7000℃の少年」の意味もなんとなくだけと分かりました。

私はノンフィクションの話が好きなので、「はだしのゲン」など戦争の話もいくつか読み
たことがあるけれど、やはり、お父さんが被爆者である先生の話やお父さんの日
記の内容を聞くのが一番よくわかり、こわいものだと知りました。授業の中ではい
ろいろな話を聞きましたか、体験した人が一番こわい思いをしたし、
人々が無差別に殺されていらしたのだから、二度と戦争をしてはいけな
いと思います。そのため、私は昨日教えてもらったことをいろいろの人に伝えてい
きたいと思います。昨日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業をうけて、原爆のおそろしさを初めて知りました。

昔、空襲があったことは知っていたけど、どんな規模だったかや、何人のひかい者が出たか等は全く知りませんでした。

原爆先生のお話を聞いて、被爆者の恐怖、悲しみ等の気持ちは私には想像を絶するものなんでしょうと思いました。

たくさんの命があるこの世界で、人々人が傷つけ合うことはとても悲しいことだと知りました。

昔の人々の苦勞や苦痛を知って、毎日生活したいです。このような機会をくださり、ありがとうございます。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して、たくさんのごとを学ぶことができました。その中でも特に学んだのは、生きること命の大七刀さと空しゅうや戦争のこわさです。まず命の大七刀さです。話の中にお子^こ供^ごが姉を助けようとして必死にたのんだり、車にのぼろうとしたりなどかんはって生きようとしている姿があり、生きることほとても大七刀でありがたいことなんだと思いました。また、一つの原子爆弾で、その都市の半分以上の人が被爆し、40%の人が死んでしまいました。このことを知って、ぼくは戦争、空しゅうはとてもおそろしいもので、やめてはいけないと、改めて分かりました。ぼくは、特別授業を受けて、とても大切なことを学びました。このことを常に心にとめて生活していきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/19

私は、原爆先生のお話を聞いて、改めて原爆のひさんさを思い知りました。先生がスクリーンで原爆の熱さを説明して下さいた時、正直に私はそれを信じる事ができませんでした。太陽の表面温度を超えるような武器を人類が生み出してしまったこと、それと最終的にアメリカがそれを投下してしまったことは、悲しみを通り越した残酷なものだと思いました。戦争を始めてしまったのは日本だけけれども、そのせいで沢山の無くない人々の命がクはわれたことは、決して許されることではないと思います。

その他に、原爆先生のお父さんが原爆資料館で「きれいすぎる」と言ったことや、その他に何を言わなかったことが不思議でした。

また、この授業で原爆先生が工夫して説明して下さいたので、私はその場にいたような恐しさを味わうことができました。これからは終戦記念日にばたら今日のことを思い出したいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生にいろいろなことを教えてもらい、原爆の恐ろしさや、人々が苦しい思いをしたことを深く知ることができました。そして、いろいろな人がやけどをして、すごく痛いのに、がんばって歩いて、助けてもらおうとする所が一番心に残りました。理由は、本当に歩けないくらいひどいやけどをしていても、ひしひしになって助けを求め、歩けたことが私は、すごいなと思いました。そして、家も火でやけてしまい、人々もつらい思いをしているのに、家にも帰ることができずにいる人がたくさんいて、全てがなくなっても、「生きよう」と思う人々が私はすごいなと思いました。

なので私は、絶対そのようなことになりたくない。なので、少しでもやらないようにするにはどうすれば良いか、考えていこうと思いました。今回の話を聞いて、本当に原爆はこわいんだなと分かり、良かったなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は、いんしょうに残った話の場面は、
爆弾を実際に落とされた広島に行っ
た。軍人の池田義三さんが50年たつて
原爆ドームに行き、スヤケいさびている
人の像を見たときに「きれいな場所、
所です。実際に現場に行っていない
人は、こんなにならなかつたと思うけど、軍人
が実際に現場に行つた人が見てみる
と全然またいい方だ」と言うことだから
この言葉が出たと感じました。やはり
すごく怖いと思ったし今度このよう
ことはあつてはならないと思ひます。
そして原爆についてたくさん出来事
や知識を教えてもらったので、また次
の世代に僕が教えたかと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私ははじめて原爆について詳しく聞きました。その時のしょうきょうなどのことは前はまったくわかりませんでした。爆弾の大きさや、7000度だったことは印象に残っています。なぜかという、被害がすごいということがすぐにわかったからです。7000度のあつさをすべてかやけてしまうことも被害者が多いということも伝わりました。当時自衛隊だった父の体験したことを聞いたときは、どれだけ大変で見ているのが苦しいかが伝わりました。ひふが焼けてしまった人が多かったことや、川の中に飛び込む人の姿も多かったのに、あきらめずにたくさん人の命をすくったことは本当にすごいと思いました。爆弾がとうかされたときのしょうけいも、想像できました。私は本当にたくさん人の命をすくったことがすごいと思います。なので私も、自分が大変でも、人のことも思える人間になりたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11 / 19

私は、原爆は人を苦めてしまうもので、絶対によってはいけな
いものだ
と思います。昨日の原爆先生の授業を受け、改めて原爆の悲惨さが思い
知らされました。広島で起こった原爆は、人々が体全体をやけどをして
いたり、原爆の強さがこのことからしてもよくわかりました。また、助け
ようとした兵隊が手をとった時に皮膚がとれたりしたということをお
しゃって、想像しただけでも怖くありえないことだと思いました。

これからは、原爆などで何にも疑いのない人を殺すことがないように
したいです。そのようなことがないようにするためには、第一に
人を殺さないということだ
と思います。私は罪のない人を殺そうと
考えた人が許せません。いくらその人が悪い人でも殺すというこ
とはだめだ
と思います。日々の生活で原爆のことを頭にいれ、自
分
が人を殺してはいけないということを自分に言い聞かせ、8月
6日、9日の悲惨さを思、て生活していきたい
と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は今回の原爆授業を通して戦争のおそろしさについて知りました。池田先生の父親、池田義三さんの実体験を元としたお話。それは私の想像をこえ、知っておくべきものだと思います。

義三さんは17歳で軍隊に入りました。そして広島市に行きドラム缶のかけになっていた時です。地上600mで原子爆弾が爆発したのです。ドラム缶のかけになっていたので義三さんは無傷でした。私は何万人もの方が亡くなってしまったのに無傷だったのはすごいと思いました。市の中心地にいくとけが人がすごかったと知ってこわくなりました。原爆がどれほどおそろしいか、戦争のせいでどれだけの人が亡くなったか、それを考えると義三さんのや、たことかどれだけスゴイかとても思います。これからの日本が平和で仲が良い国になってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆ドームやいれいひは見たことはあ
りましたが、原爆がどれだけ残こくかはあまり
知りませんでした。今回話を聞いて、原爆の
被害がすごく大きかったこと、原爆がと
ても残こくだったことを感じました。遺体
を焼きゃくしたりした兵隊の人、とても怖くて
悲しかったと思います。これからの日本でこ
のようなことが絶対にもう二度と無いよ
うにしなければいけないだと思いました
た。自分が思っていたよりとても強力で被
害も大きく、つらい思いをした人がいて、また、
これは戦争のせいで起きたことなので、争い
を出来る限りなくさないで平和にはな
らないだと思いを聞きました。そし
て、原爆のことを知れて良かったと思いま
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、一度、原爆資料館に行ったことがあり、こゆい写真や、展示物を見たり、お母さんが、原爆を経験したという人の話を聞いたりして、自分なりに、原爆のこわさを分かっていたつもりだったのですが、新ためて池田さんの話を聞いてみると、池田さんは、原爆が起きたしゅんかんの状況や、マイクで表現したり、人かどのような行動をとっていたのか、なども、自分で動いてわかりやすく表現したりして、原爆資料館で見るとは、大抵かいて、池田さんの話を聞くだけで、その時の状況や、頭にうかんで、話し方一つで、こんなにも聞く人に興和を持たせたりさせることができるのか、すごいと思いました。それと同時に、生々しい情景が頭にうかぶので、原爆のこわさが、とても分かりました。自分の大切な家族が、同じ事にあつたらしく考えると、とても苦しくなるのですが、しゅじの人は、こんなことを、実際に経験し、家族が苦しむ思いにあつただけでなく、自分じしんも、この苦しさにたえたのだということも考え、もっと、原爆のこわさが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はもともと祖母が3才の時に戦争を体験していたことから話しを聞いたりなど周りに戦争を体験した人がたくさんいたので色々なことを知ることができていました。また、NHKのテレビで第二次世界大戦のことをやっているのを母が見ていたのでもそのテレビを見ていました。テレビでは話しを聞くのとほろが、ではあまりとその映像が出てきました。とてもショックでびっくりした。とくよりも悲しい気持ちになったのを覚えてます。今回は原爆先生ということでも戦争のお話だったので少しはわかったのですが、それよりも戦争がなぜこわいのかなぜやっていたのかなのかを一番心に残りました。最後の原爆先生のお父さんのお話を聞いて何十年たってもわすれられないものがあってそれほどとても戦争はこわくて悲しいものだと感じ。何百人もの人が犠牲になりそして今も苦しんでいる人たちがいるこの戦争はせつたかにやっていたのだなと思。今戦争のない世界にerasることできて幸せだと思。ました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆のことについてあまりいいことを知らなく、原爆がおちた日にテレビでやっているのを見たことぐらいしかなかったけど、原爆先生の講話を聞いて、今私たちは毎日普通にくらせているけど、昔はそうはいかず、その普通すらもいつかわれるか分からないと思うと、こわいと思いました。今私たちの上にある太陽と同じつまり太陽がおちてきた、そのように同じことがあつたんです。7000°の熱が体にくら、真夏は太陽をおちるだけでもあつた。なのにそのあつてもと同じあつたのものがあつてきた。それを想像するだけで鳥はたかか立ちました。私が想像するだけで鳥はたかか立つものがその現場にいた人が、どのほどにわがままでほう。しかもとても強いほうけまが2日もあつたのです。熱線がその時はあつた、熱線をあつた人はとけてしまったそうです。たつまきのような熱線たままこまめなな未人もいるそうです。

アメリカは原子爆弾をおとす都市条件、候補になつた都市をおけているけれど、この条件や都市をみるだけでもつらくなる人は多くいるでしょう。私は原爆先生の授業を通して、もう二度と他国や日本も原爆をおちたり、おちましたりしてはいけな、と思ひました。原爆をおとせ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

ないうちを助るために、日本もと他国に、呼びかけなければいけな、と思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回原爆先生の特別授業を受講して思った事は、衝撃、恐怖、そして悲しみです。衝撃は3、4mの小さなばくたんで多くの場所に被害をもたらした事、規模が大き、原子ばくたんと普通のばくたんの違いを改めて知りました。恐怖は、多くの国が原子ばくたんを持っていて、いつでもそれが発射できる状態にある事、もし日本に向けてまた撃てきたらまた多くの被害がおよんでしまうため、戦争を起さないように関係が良好のままでいてほしいと思いました。体からはかかれ落ちていく肉、やけにけていく体…想像するだけで身震いをしてしまいます。原爆は明日か、未来がある人をもとに底に落とす、それが出来てしまう物だということを改めて実感し、一人一人がこの経験を生かして、二度とこのようなことを起こすことがないようにしなければいけないと強く感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ほととは原爆先生の話しを聞いてからは、戦争は二重と
してはいけないと思いました。一つの原爆を落し
た瞬間に、多くの人が死にました。そして、
14万人の命が奪われました。戦争は、
二度と起きないように願っています。

今年6月6日は、広島原爆資料館へ行って戦争
時のことを勉強しました。中には、1313名が犠牲
になった、原爆が落とされた時の人の姿を写した
写真。子どもが死んだという写真、おはや男か女かも
分からぬという写真。今でも原爆の苦しみ、苦し
た当時の苦しみ、苦しんでいる人がいます。

原爆で亡くなった人の命もまた、多くの命が
なすいもかいたそうです。また「〇〇になりたい」とか、
「〇〇人になりたい」という希望をもたずか罪を押し
おかにないのに亡くなる人、そして、
悲しいです。このようなことが繰り返してしま
う戦争は、絶対あってはならないとしたと
思いました。今後は戦争の話を多く教
えてくださることを願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆のことについて、たくさんを知りました。まず一番に知ったことは原爆によりたくさんの方が亡くなり言い方は悪いけど、人が人ではなくなるということでした。たぶん今の私が見たら、たえられないくらいだったと思います。2つ目は原爆が落とされる場所が最初には京都だったということです。でも京都は文化があるからという理由で広島になりました。そんな理由で落とす場所を決めるならそもそも落とさないでほしかったです。3つ目は、原爆の温度が7000度だったということです。太陽の表面温度が6000度なので太陽が上からおろしてきたこととなります。そして今だに原爆をもっている国があってこわいです。4つ目は、衝撃波の速さが毎秒440mということです。ある写真には人がすわっていたかげだけを残して人がしゃんできえさってしまった写真もあります。被爆者数 24万人で死者数は14万人にものほりこの中の2万人はしゃんできえさってしまったそうです。最後に原爆先生のお父さんの映そろを見ました。その前の話だけでも涙が出てきそうだったのに映そろで泣きそろになりました。私は二度とこのようなことがないといいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

改めて原爆というのはこわいもので、絶対に使ってはいけないものだと思いました。

原爆先生の話を聞いていて、当時人たちのつらさや、こわい思いをしていたんだなと感じられました。

原爆というのは、太陽と同じくらいの温度があり、中心の温度は約100万度にもなるということを知りました。

この数字からぼくは、原爆はこわいもので、絶対に使ってはいけないということが強く感じられました。

原爆先生の授業を受講して、ぼくは世界から原爆、核兵器がなくなっていくことをほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾のおそろしさをあらためて知ることができました。原子爆弾でどのほどの犠牲者と悲しみを生んだのか、原爆先生の話を聞いてよくわかりました。話を聞いていて、心に残ったことは、原爆先生のお父さんが話していた動画です。平和記念資料館の展示品を見て「きれいすぎる、とっぴきいた」といってなみだを流したお父さんの気持ちにはあまりわかりません。でも、今も話をして泣くことができるほど、広島で過ごした9日間はずんずくに記憶にのこるものだから、たと話をきいて想像できます。なので、原子爆弾や戦争のことはちゃんと後世に伝えて、二度としてはならないと今一度確認しました。

原爆先生の書いた『70000の少年』も機会をつくらせて読んでみたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日はとても貴重なお話を聞けました。
普段あまり聞かない言合や自分が経験した事
が無い話だったので話に引き込まれていき
ました。

原火暴先生の話を聞いてとてもびくり
した事があります。それは原火暴の時に熱の熱
で人が黒いかげしか残らないという事です。
身近でそんな事を経験した事がないので
とても衝撃的でした。その他にも広島に
投下された「リトルボーイ」や候ネ甫になった着陸
などいろいろな事を学びました。

これから先、原火暴の事は一生忘れな
いと思います。そんな中そんなすばらしい話
を聞けたのがとても光栄に思います。将来
自覚した時にはかせたらなと思います。本当
にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ほくは今まで戦争を全体としてしか習っていたが、たけど今回実際戦争を体験した一人の目線から戦争を感じる事ができました。特に印象に残っているのは原爆の温度が太陽の6000℃よりも1000と高い7000℃だということです。7000℃なんてぼくたちには想像できません。そして40%の人たちが死亡したということも衝撃です。原爆が落ちる前まで当たり前のように人間の姿で生きていた人が原爆が落ちたら人間の姿ではなくなっているなんて信じられません。これからは原爆による被害にあう人がいないことを願っています。また今回のことでより戦争について詳しく知ることができ、命の重み尊さを学びました。もし広島に行きたときは原爆ドームに行きたいと思っています。